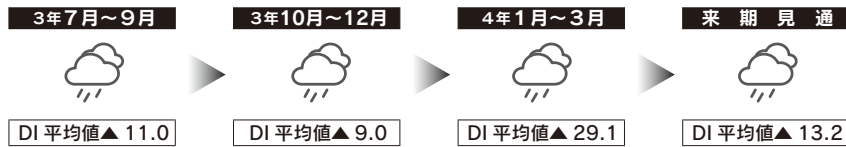


# 県内中小企業(製造業)景況動向

令和4年1月～3月期

業況大幅悪化、価格転嫁難しく閉塞感続く

本会調査結果概要



※DI 平均値=(売上高DI+収益性DI)÷2

DI 平均値(同期比)については▲29.1となり、前回調査(3年10-12月期)の▲9.0から20.1ポイント大幅下降している。来期見通しにおいては15.9ポイント上昇して▲13.2となっている。

## <概況>

回収率：49.4% (247社)

平均従業員数：52.3人

売上高DI (同期比)			収益性DI (同期比)			業況DI (同期比)		
前期	今期	「減少」	前期	今期	「悪化」	前期	今期	「悪化」
▲4.2	▲22.8	▲18.6P	▲13.8	▲35.4	▲21.6P	▲10.5	▲26.4	▲15.9P
原材料価格DI (前期比)			販売価格DI (前期比)			資金繰りDI (前期比)		
前期	今期	「上昇」	前期	今期	「上昇」	前期	今期	「悪化」
70.4	70.8	+0.4P	7.9	10.2	+2.3P	▲15.3	▲29.8	▲14.5
金融機関の態度DI (前期比)			設備操業率DI (前期比)			設備投資実施率 (前期比)		
前期	今期	「硬化」	前期	今期	「下降」	前期	今期	「減少」
▲1.3	▲2.5	▲1.2P	2.4	▲21.8	▲24.2P	35.3%	30.3%	▲5.0%

## 業種別景況動向

### 食料品

7-9	10-12	1-3	来期見通
▲43.7	▲18.9	▲21.5	10.8

同期比の売上高DIは▲21.4、収益性DIは▲21.6で、両方を合わせたDI 平均値は▲21.5となり「小雨」模様が継続している。来期見通しは32.3ポイントの大幅上昇で10.8となり「薄日」模様へ転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲57.2、収益性DIは▲46.0となった。

また、雇用人員判断DIは▲8.1、設備操業率DIは▲22.3、設備投資実施率は28.6%、来期の設備投資計画率は37.5%となった。

### 繊維・同製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
▲26.7	▲12.0	▲21.6	▲24.6





同期比の売上高DIは▲18.2、収益性DIは▲25.0で、両方を合わせたDI 平均値は▲21.6となり「小雨」模様が継続している。来期見通しは3.0ポイントの下降で▲24.6となり「小雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲30.3、収益性DIは▲24.0となった。





また、雇用人員判断DIは21.7、設備操業率DIは▲24.0、設備投資実施率は6.1%、来期の設備投資計画率は12.0%となった。

※雇用人員判断DI = 「不足」企業割合 - 「過剰」企業割合





### 木材・木製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲36.1	▲13.9	▲30.0	▲40.1
<p>同期比の売上高D Iは▲26.7、収益性D Iは▲33.3で、両方を合わせたD I平均値は▲30.0となり「小雨」模様へ転じている。来期見通しは10.1ポイントの下降で▲40.1となり「雨」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲66.7、収益性D Iは▲60.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは6.7、設備操業率D Iは▲13.4、設備投資実施率は20.0%、来期の設備投資計画率は6.7%となった。</p>			





### 紙・加工品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
0.0	3.9	▲30.8	▲11.5
<p>同期比の売上高D Iは▲23.1、収益性D Iは▲38.5で、両方を合わせたD I平均値は▲30.8となり「雨」模様へ転じている。来期見通しは19.3ポイントの上昇で▲11.5となり「小雨」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲69.2、収益性D Iは▲61.5となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは7.7、設備操業率D Iは▲46.2、設備投資実施率は16.7%、来期の設備投資計画率は16.7%となった。</p>			





### 窯業・土石製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲34.1	▲37.4	▲53.1	▲31.1
<p>同期比の売上高D Iは▲56.1、収益性D Iは▲50.0で、両方を合わせたD I平均値は▲53.1となり「雨」模様が続けている。来期見通しは22.0ポイントの大幅上昇するも▲31.1となり「雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲47.6、収益性D Iは▲50.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは35.1、設備操業率D Iは▲21.6、設備投資実施率は29.3%、来期の設備投資計画率は30.8%となった。</p>			





### 金属・同製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
34.3	▲1.8	▲12.5	5.3
<p>同期比の売上高D Iは▲3.9、収益性D Iは▲21.0で、両方を合わせたD I平均値は▲12.5となり「小雨」模様へ転じている。来期見通しは17.8ポイントの上昇で5.3となり「曇」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲38.5、収益性D Iは▲36.9となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは10.5、設備操業率D Iは▲21.1、設備投資実施率は23.1%、来期の設備投資計画率は29.2%となった。</p>			

### 機械・機器

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
14.0	25.6	▲24.1	▲6.2
<p>同期比の売上高D Iは▲4.5、収益性D Iは▲43.7で、両方を合わせたD I平均値は▲24.1となり「小雨」模様へ転じている。来期見通しは17.9ポイントの上昇で▲6.2となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲13.7、収益性D Iは▲21.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは21.1、設備操業率D Iは▲8.9、設備投資実施率は44.6%、来期の設備投資計画率は44.1%となった。</p>			

### プラスチック製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
8.8	▲58.4	▲65.0	▲45.0
<p>同期比の売上高D Iは▲70.0、収益性D Iは▲60.0で、両方を合わせたD I平均値は▲65.0となり「雨」模様が続けている。来期見通しは20.0ポイントの大幅上昇するも▲45.0となり「雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲60.0、収益性D Iは▲50.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲20.0、設備操業率D Iは▲70.0、設備投資実施率は80.0%、来期の設備投資計画率は60.0%となった。</p>			

※雇用人員判断D I = 「不足」企業割合 - 「過剰」企業割合